

施設長より

9月4日の当作業所の平成30年度上期
施設運営協議会を開催する予定が、台風
により10月29日に延期とさせていただきます。

きました。運営協議会では、施設の
上半期の報告と、利用者支援の振り返り、
地域にある福祉施設として地域
からの期待や、相互の協力関係など
意見交換をすすめます。また、10月

今後の予定

- 10/1 家族171訓練
- 10/4・25 スポーツクラブ
- 10/11・23 アウトドアクラブ
- 10/13 作業所まつり
- 10/19 ねりいち販売会
- 10/22 第三者評価利用者調査
- 10/24 家族会
- 10/29 30年度 運営協議会

武蔵野会後援会ご支援のお願い

社会福祉法人武蔵野会は多くの事業を運営
しています。各施設の運営並びに福祉の
推進ができるよう物心両面より支える
組織として武蔵野会後援会があります。
皆様のご理解とご協力・ご支援をお願い
申し上げます。

武蔵野会後援会事務局

東京都八王子市台町1-19-3
TEL 042(626)9772

の家族会で練馬区障害者施策推進課
就労支援係より、これからの作業所等に
ついて情報提供があります。ご家族の
参加をお願いします。(村山)

就労勉強会

9月27日

- 外出の話 参加利用者の多くの方が、遠出をする頻度は少なく、近場の外出で買い物、外食が多かった。近所の草花に興味を持ち散策が楽しみという方もいた。
- 趣味、余暇の話 参加利用者の趣味を聞くと、音楽・テレビ鑑賞、カラオケ、プールなどが多かった。野球観戦、ライブコンサートが良かったという意見が出ました。茶話会の機会が楽しみな方もいました。
- お金の話 工賃の使途を聞くと、本・雑誌、音楽ソフト、ゲームソフトなど、自分の趣味や食べ物を買いますと言うの方が多かった。家族や知人に贈り物を買ったという方や、行事の食事代や交通費を工賃から充てている方もいた。

消費税についても話題になりました。
会議や打ち合わせで自分の意見を発表することや相手に伝えることを学ぶ機会になりました。(熊谷)

編集後記：季節の変わり目です。体調に
気をつけましょう(宮城)

きたまち通信

131号
9月

- 2ページ：「利用者宿泊旅行」
- 3ページ：「災害対策について」「武蔵野会練馬地区職員実践事例報告会」
- 4ページ：「施設長より」「就労勉強会」「武蔵野会後援会ご支援のお願い」「今後の予定」



9/7 小松沢レジャー農園にてサザンクロス班



9/21 ホテル玄関前にてカシオペア班

発行：社会福祉法人 武蔵野会 練馬区立北町福祉作業所

〒179-0081 東京都練馬区北町8-2-12 電話：03(3559)0361 FAX:03(3559)0362
メール：musashinokai@kitamachi.net ホームページ：http://care-net.biz/13/kitamachi/

がつ 9月6～7日 にち

りようしゃ しゅくはくりよう

利用者宿泊旅行

がつ 9月20～21日 にち

ことし りよう がつ か か
今年の旅行は、9月6日～7日がサザンクロス班、20日～21日はカシオペア班の希望者が参加しました。

しよにち おおみや てつどう
初日は、リニューアルした大宮にある鉄道博物館を観覧しました。昭和の頃の特急

れっしゃ しんだいれっしゃ
列車、寝台列車、新幹線の最新車両などいろいろな客車の座席に座ることができたり、

れっしゃ
ジオラマの列車の模型は楽しかった様

ちゅうしょく かい しんかんせん
です。昼食は3階の新幹線ラウンジで3種類の駅弁から好きな弁当を選び舌鼓。

てつどう す かた てつどうかんけい しな じぶん
鉄道好きな方は、鉄道関係の品を自分へのお土産として購入。そして、皆さんを乗せた

かんえつじどうしゃどう はし ほんじょうこだま
バスは、関越自動車道を走り本庄児玉インターから、神流川の上流へ進み、下久保ダムを渡り檜の香るホテル神泉に到着。



てつどうはくぶつかん はん みな
鉄道博物館にてカシオペア班の皆さん

わらじカツセット



やくとう だいくじょう きぶん
薬湯の大浴場は気分も最高！ホテル自慢の豪華なお料理をゆっくり味わ

さいこう じまん ごうか
いました。朝食も大満足です。皆さんゆった

りとお部屋でくつろが

か め しゅっぱつ
ていました。2日目は、ホテルを出発して長瀬、秩父の中心を通り、横瀬にある小松沢レジャー農園で、ブドウ狩り・ブ

た ほうだい あま
ドウの食べ放題、甘いねという声が聞こえてました。

みち えき
「道の駅ちちぶ」にてお土産と、昼食は名物「わらじカツとお蕎麦のセッ

いただ たの
ト」を頂きました。楽しい思い出をお土産に北町に帰ってきました。（村山）



しゅっぱつまえ はん みな
ホテル出発前のサザンクロス班の皆さん

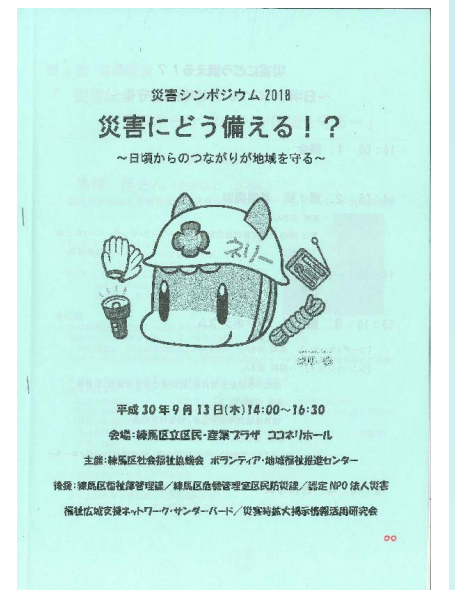
がつ 9月13日 にち

さいがいたいさく
災害対策について

かいさい ねりまくしゃかいふくしきょうざいしゅさい さいがい
ココネリホールで開催された練馬区社会福祉協議会主催の災害シンポジウム「災害にどう備えるか！？」～日頃からのつながりが地域を守る～という研修に参加し

だいさいがい さい いちばんこわ
ました。一部は「大災害の際に一番怖いことはなんで
しょうか？」という講師からの質問で話が始まりました。防災の基本として「命を守る」「情報の収集の方法を準備」等をあげ、個々に、寝ている場所の安全、自宅の耐震、3日分の非常用飲食備品、懐中電灯とラジオ等の順番が示され、自助努力を考えよう。できれば自宅周辺の給水拠点と防災井戸を調べておこう。

こうてきしえん さいがい じ こんらん なか おく おも
公的支援は災害時の混乱の中では遅れると思うことをきっぱり話された。発災後の避難所生活、医療面の備え、周辺地域からの支援、ボランティア対応などを学び、活動している防災委員会の取り組みの紹介がありました。（武田）



むさしの かいねりまちくしよくいんじっせん じれいほうこくかい
武蔵野会練馬地区職員実践事例報告会

がつ 9月11日 にち

ねりまふくしえん じっせんじれいほうこくかい かいさい めい ねりまちく しよくいん さんか
練馬福祉園にて実践事例報告会が開催され、90名ほどの練馬地区の職員が参加し、練馬地区の中から3施設3実践事例が発表されました。入所施設から「短期入所サービスを利用されている在宅者の、本人の視点を重視した支援の実践」と、「看取りを支える口腔ケアの実践」に関する報告があり、通所施設から「意思決定支援の実践」に関する報告がありました。各施設の事情や、在宅の施設の求め



じっせんじれいほうこくかい ようす
実践事例報告会の様子

られるニーズ等、利用者を守る視点で、多職種共同で支援が提供され、職員の工夫・試みを学ぶことができました。（武田）